

本部席の進行要領

1. グラントの作成

大原山公園グラウンドが主だが9時より試合が開始される場合は7時30分に集合して皆さんで協力してグラント作りをする。グラント作成の詳細については野球部HPを参照してください。

2. 試合開始の前に

バックネット裏では「当日の試合予定」「タイマー」「筆記用具」「スコアボード」「審判のプロテクター」また「選手登録名簿」を事前に準備します。

試合開始の30分前に両チームのキャプテンを呼びメンバー表の提出と試合球を持参させ、先攻 後攻をジャンケンなどにより決めます。(リーグ戦A・B対決の場合はB先攻)

メンバー表を本部テーブルや台紙などに貼り付けし「選手登録簿」と照合します。またスコア表もテーブルにセットし先攻 後攻を記入、また4名の審判員に署名させます。

試合開始の20分前には両チームにベンチ入りの指示を出し後攻チームよりシートノックをさせます。ノック開始とともにタイマー開始し5分間にセット、2分前、1分前、30秒前、時間の連絡をします。

審判団にローカルルールの説明をします、また審判と協力してグラントの整備を行います。皆の準備が出来たところで、主審が「集合」の合図をかけ整列 礼をさせ投手が練習投球を開始します

主審が「プレーボール」の宣告をすると同時にタイマーをスタート(A/ Bは90分、JRは80分にセット)

試合開始時間を両チームに伝えます。

3. 試合中の留意点

ボールカウントは「カウンター」で記録します。時により球審よりカウントの確認が入るまたは球審が間違えた場合は塁審がアドバイスします。

バッターがメンバー表の打順の通りとなっているかどうか 背番号とともに打席の都度確認します。

メンバー交代があれば球審より連絡があるので記録しメンバー表の修正を行います。また交代メンバーが登録選手かどうか確認します。

各回の得点を記録しスコアシートに記入します、また長打ができれば都度選手名と同時にスコアシートに記入します。

試合中の抗議やルールなどは審判団が決めますが、時として本部にアドバイスを求めることがあります。例えば大原山グラウンドのローカルルールなどの確認です。

審判の気が付かない試合の続行に支障がきたす事態があれば球審に連絡します。例え

ば外野に犬の散歩者が侵入したとか・

試合の制限時間が近かざれば球審にその旨連絡します。例えばこの回(裏)の途中で時間切れとなりそうですとか。

リーグ戦は引き分けもありますが(両者勝ち点0.5)、トーナメントでは延長戦を行い、決着が付かないと一死満塁方式で決着をつけます。(一死満塁方式は幾通りかありますが甲北連盟は独自のルールがあります)

4. 試合の終了

球審がゲームセットを宣告します、両チームのコーチの方に試合後のグラント整備をして貰います。

スコアシートのレビューを行い、完成させます。

最終試合の本部席がスコアシートを集め連盟の広報担当に渡します。(本年度は秋山)

5. その他

審判団と協力のもと試合の流れがスムーズに流れるように心がけてください。

子供達や相手チームを傷つけるような言動があった場合は「注意」してください。

以上